

シリーズ「月経のお悩みは解決できる！」

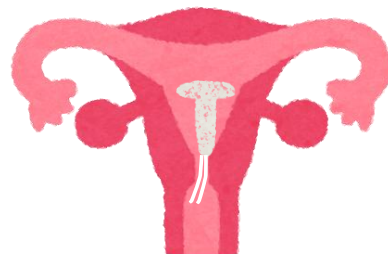
(その3)「低用量ピル」以外にもいろいろある！

月経痛がひどかったり月経量が多かったりしても低用量ピルを飲まない方がよい人がいます。ヘビースモーカー、40歳以上、などが当てはまりますが、その理由は、低用量ピルの中のエストロゲンに、わずかに血栓症(いわゆるエコノミークラス症候群など)を増やす副作用があるからです。

そんな血栓症が起こりやすいとされる人でも、月経痛がひどかったり月経量が多かったりする悩みを解決する方法はあります。ジエノゲスト、ミレーナなどです。ジエノゲストもミレーナも、血栓症を増やす服用があるエストロゲンを含んでおらず、プロゲステロンだけ含んでいます。

ジエノゲストは飲み薬で、毎日飲み続けて月経を来なくするものです。

ミレーナは子宮の中に挿入するもので、Tの字の形をしています。ミレーナからプロゲステロンがが少しずつ子宮内に放出されます。5年くらい入れたままにします



ジエノゲストもミレーナも、赤ちゃんを授かりたいときが来たら、そのときに薬を飲むのを中止したりミレーナを取り出したりすれば問題ありません。

子宮筋腫や子宮内膜症が原因で月経痛がひどかったり月経量が多かったりする場合は、悪性の可能性があるのか・今後赤ちゃんを授かりたいのか、などによって、手術か・薬物療法か、また術式や薬物の種類も、いろいろ検討されます。

月経痛が「婦人科にかかるほどでもないな」「市販薬でなんとかなりそうだな」という人は、痛く「なってから」ではなく、痛く「なりそう」というタイミングで、イブプロフェンやロキソプロフェンといった NSAID という種類の薬を飲むのが効果的です。アセトアミノフェンは NSAID ではないので月経痛にはあまり効きません。